

Title	2021年度定年退職者略歴・ 著作目録一覧：山本正身
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学大学院社会学研究科
Publication year	2022
Jtitle	慶應義塾大学大学院社会学研究科紀要：社会学心理学教育学：人間と社会の探究 (Studies in sociology, psychology and education : inquiries into humans and societies). No.93 (2022.) ,p.175- 181
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN0006957X-00000093-0175

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

2021 年度定年退職者略歴・著作目録一覧

山本正身（やまもと まさみ）

1. 学歴・学位

- 1976 年 4 月 早稲田大学教育学部教育学科入学
- 1980 年 3 月 同大学卒業
- 1980 年 4 月 早稲田大学大学院文学研究科博士前期課程教育学専攻入学
- 1982 年 3 月 同大学院博士前期課程修了（文学修士）
- 1983 年 4 月 慶應義塾大学大学院社会学研究科研究生
- 1984 年 4 月 慶應義塾大学大学院社会学研究科博士課程教育学専攻入学
- 1987 年 3 月 同大学院博士課程単位取得退学
- 2009 年 5 月 博士（教育学） 慶應義塾大学大学院社会学研究科

2. 職歴

〈専任教員〉

- 1986 年 4 月 松阪女子短期大学専任講師
- 1989 年 4 月 同短期大学助教授
- 1994 年 4 月 慶應義塾大学文学部助教授
- 2001 年 4 月 慶應義塾大学文学部教授
- 2002 年 4 月 慶應義塾大学大学院社会学研究科委員
- 2022 年 4 月 慶應義塾大学名誉教授

〈在外研究〉

- 2004 年 4 月～2005 年 3 月 北京大学哲学系訪問教員
- 2004 年 6 月～2005 年 3 月 北京市首都師範大学外国語学及応用言語学研究所客員教授

〈非常勤講師〉

- 1987 年 4 月～1993 年 3 月 松阪大学政治経済学部
- 1997 年 4 月～2000 年 3 月 早稲田大学第二文学部
- 2012 年 8 月 京都大学大学院教育学研究科（集中講義）
- 2014 年 4 月～2015 年 3 月 早稲田大学教育学部
- 2017 年 4 月～ 早稲田大学教育学部

2019 年～ 皇學館大学大学院教育学研究科（集中講義）

2021 年 4 月～ 立教大学文学部

〈塾内役職〉

1995 年 5 月～1997 年 9 月 通信教育部学習指導副主任

1997 年 10 月～1999 年 9 月 文学部学習指導副主任

2001 年 10 月～2003 年 9 月 大学院社会学研究科委員長補佐

2005 年 10 月～2007 年 9 月 大学院社会学研究科委員長補佐

2006 年 10 月～2010 年 9 月 教職課程センター学習指導副主任

2007 年 10 月～2009 年 9 月 大学院社会学研究科学習指導

2008 年 10 月～2014 年 9 月 慶應義塾女子高等学校長

2014 年 10 月～2015 年 3 月 教職課程センター学習指導副主任

2017 年 4 月～2019 年 9 月 大学院社会学研究科学習指導

〈学会役員〉

2008 年 10 月～2011 年 9 月 教育哲学会機関誌編集委員

2016 年 5 月～ 日本儒教学会理事・評議員

3. 研究業績

〈単著・編著〉

【単著】『仁斎学のエデュケーション思想史的研究——近世教育思想の思惟構造とその思想史的展開——』慶應義塾大学出版会, 2010 年 10 月.

【編著】『アジアにおける「知の伝達」の伝統と系譜』慶應義塾大学言語文化研究所, 2012 年 3 月.

【単著】『日本教育史——教育の「今」を歴史から考える——』慶應義塾大学出版会, 2014 年 4 月.

【単著】『伊藤仁斎の思想世界——仁斎学における「天人合一」の論理——』慶應義塾大学三田哲学会, 2015 年 10 月.

〈共著・共訳〉

【共著】『教育史』〔田中克佳編著〕, 第 2 部第 4 章「近代の教育」(221-242 頁), 第 V 章「現代の教育」(243-250 頁), 川島書店, 1987 年 4 月.

【共著】『教育の原理を学ぶ』〔高森充・伊佐治大陸共編〕, 第 1 章「教育とは何か」(1-21 頁), 学術図書, 1990 年 3 月.

【共著】『教育の本質を求めて』〔中井良宏・梅村光弘編著〕, 第 3 章・第 2 節「西洋における教育のあゆみ」(61-83 頁), 福村出版, 1990 年 4 月.

【共著】『教育の探求——この未知なるもの——』〔西村皓・鈴木慎一編著〕, 第 2 章・第 1 節「近代日本の教育論」(21-29 頁), ぎょうせい, 1990 年 4 月.

【共著】『入門保育原理』〔桑幸男・渡辺真一編著〕, 第 3 章「保育の内容」(41-55 頁), 福村出版, 1996

年 5 月.

- 【共訳】『死と西洋思想』〔ジャック・シャロン著, 田中克佳・松丸修三・諏訪内敬司・森野衛・山本正身共訳〕, 第 24 章「シェーラー」(262-268 頁), 第 26 章「実存主義哲学と死の問題」(275-330 頁), 行人社, 1999 年 4 月.
- 【共著】『「教育」を問う教育学——教育への視点とアプローチ——』〔田中克佳編著〕, 『「教えない教育」を考える——教育の進化論的基盤の意味——』(77-97 頁), 慶應義塾大学出版会, 2006 年 3 月.
- 【共著】“*Corners of the Mind—Classical Traditions, East and West—*”, Edited by Neil B. McLynn, Sumio Nakagawa, and Taro Nishimura; “A Study of the Meaning of “the Mind” in Tokugawa Confucianism—From the Viewpoint of the Differences between the Thought of Zhu Zi and the Thought of Ito Jinsai—”, KEIO UNIVERSITY PRESS, July 2007, pp.43-51.
- 【共著】『教育思想史』〔今井康雄編〕, 「第 12 講 福沢諭吉——日本近代教育思想の一範型——」(226-243 頁), 有斐閣, 2009 年 6 月.
- 【共著】『アジアの文人が見た民衆とその文化』〔山本英史編〕, 「仁斎と益軒——近世儒者における知の位相——」(17-49 頁), 慶應義塾大学言語文化研究所, 2010 年 3 月.
- 【共著】『人物で見る日本の教育』〔沖田行司編〕「第 1 章 藤原惺窩」(5-12 頁), 「第 2 章 中江藤樹」(13-20 頁), 「第 3 章 伊藤仁斎」(21-28 頁), ミネルヴァ書房, 2012 年 4 月.
- 【共著】『夢を考える——文学部は考える 3——』〔慶應義塾大学文学部編・極東証券寄附講座〕, 「夢と道学」(51-66 頁), 慶應義塾大学文学部, 2012 年 11 月.
- 【共著】『人物で見る日本の教育 (第二版)』〔沖田行司編〕「第 I 部第 1 章 中江藤樹」(5-12 頁), 「第 I 部第 2 章 伊藤仁斎」(15-22 頁), 「第 II 部第 3 章 福沢諭吉」(91-98 頁), 「コラム 藤原惺窩と林羅山——朱子学の受容とその教育史的意義——」(13-14 頁), ミネルヴァ書房, 2015 年 9 月.
- 【共著】『東亜朱子学新探——中日韓朱子学的伝承と創新』上冊〔呉震主編〕「第十章 仁斎学的“天人合一”論」(324-336 頁), 商務印書館出版, 北京, 2020 年 11 月.

〈論文・研究報告〉

- 「日本におけるヘルバルト派教育学の導入と展開」, 『慶應義塾大学大学院社会学研究科紀要』第 25 号, 67-74 頁, 1985 年 3 月.
- 「アメリカの対独占領教育政策——2 論文の紹介とコメント——」〔長島啓記・山本正身共著〕, 『国立教育研究所研究集録』第 11 号, 197-207 頁, 1985 年 9 月.
- 「『論語』の人間観について——その教育的視座からの吟味——」, 『松阪女子短期大学論叢』第 25 号, 43-52 頁, 1987 年 12 月.
- 「孔子における『啓発』の意味について」, 『松阪女子短期大学論叢』第 28 号, 47-58 頁, 1990 年 12 月.
- 「旧飯野郡中万村竹口家所蔵の二, 三の資料について——幕末・明治期における地方の政治・経済・教育の総合的研究——」〔藤井定義・倉田貞・上野利三・中井良宏・山本正身共著〕, 『松阪女子短期大学論叢』第 28 号, 37-46 頁, 1990 年 12 月.
- 「孔子における『四教』の内容と構造について」, 『松阪女子短期大学論叢』第 29 号, 37-51 頁, 1991 年 12 月.
- 「学校 5 日制に関する調査研究——アメリカおよびオーストラリアの実態調査から——」〔中井良宏・梅

- 村光弘・宇田光・片山尊文・山本正身共著],『松阪大学紀要』第 11 号, 1-17 頁, 1993 年 3 月.
- 「教育思想における人間観と教育観との関わりについて——孟子・荀子・告子の場合——」,『松阪大学女子短期大学部論叢』第 31 号, 27-36 頁, 1993 年 12 月.
- 「『五倫』道德の成立過程に関する研究(その一)」,『哲学』第 100 集, 三田哲学会, 301-323 頁, 1996 年 3 月.
- 「『五倫』道德の成立過程に関する研究(その二)——孔子の人倫思想について——」,『哲学』第 101 集, 三田哲学会, 189-220 頁, 1997 年 3 月.
- 「伊藤仁斎における教育思想の構造について——『孔孟の意味血脈』を視座とする教育思想の特質——」,『教育哲学研究』第 79 号, 教育哲学会, 44-58 頁, 1999 年 5 月.
- 「福澤諭吉における『政治』と『教育』との関わりについて」,『教育学研究』第 67 巻第 1 号, 日本教育学会, 44-46 頁, 2000 年 3 月.
- 「伊藤仁斎における『拡充』説の思想構造について——その教育思想としての特質——」,『教育学研究』第 67 巻第 3 号, 日本教育学会, 43-53 頁, 2000 年 9 月.
- 「伊藤仁斎における『道』の思想について——『天道』と『人道』, および『道』と『性』の関係をめぐる問題を中心に——」,『研究助成報告論文集』第 11 集, 財団法人上廣倫理財団, 119-146 頁, 2000 年 10 月.
- 「近世教育思想史における仁斎学の位置について——学びの契機としての『内』と『外』の問題をめぐって——」,『アガトロギア研究』第 8 号, 人間主義学会, 23-33 頁, 2000 年 12 月.
- 「『学び』をめぐる仁斎学と東涯学の思想異同について——学の根本としての『忠信』理解を中心に——」,『哲学』第 108 集, 三田哲学会, 147-176 頁, 2002 年 2 月.
- 「日本教育史学の中の近世儒学思想」,『哲学』第 109 集, 三田哲学会, 149-206 頁, 2003 年 3 月.
- 「伊藤仁斎の生涯と教育活動に関する素描」,『哲学』第 111 集, 三田哲学会, 93-144 頁, 2004 年 3 月.
- “Neo-Confucianism and Tokugawa Confucianism——The differences of the theory of “mind” between Zhu Zi and Ito Jinsai——”, 慶應義塾大学 21 世紀 COE 人文科学研究拠点 心の統合的研究センター『心の解明に向けての統合的方法論構築・平成 16 年度成果報告書』2005 年 12 月, 157-161 頁.
- 「朱子学 of 教育思想に関する素描——朱子学の基本構造に占める教育思想の位置について——」,『三田教育学研究』第 14 号, 三田教育学会, 1-22 頁, 2006 年 7 月.
- 「江戸儒学における教育認識の一特質について——『心』の理解をめぐる朱子学と仁斎学の思想異同から——」,『哲学』第 118 集, 三田哲学会, 141-172 頁, 2007 年 3 月.
- 「『死生観の教育』の必要性と可能性について」,『年報日本思想史』第 6 号, 日本思想史研究会, 57-60 頁, 2007 年 3 月.
- 「日本における教育思想の伝統と系譜——近世教育思想研究の視点から——」〔辻本雅史・河原国男・沖田行司・松下良平・樽松かほる・山本正身共著〕,『教育学研究』第 75 巻第 1 号, 日本教育学会, 97-102 頁, 2008 年 3 月.
- 「近世教育思想史研究の方法と課題」〔河原国男・山本正身共著〕,『教育哲学研究』第 99 号, 教育哲学会, 164-169 頁, 2009 年 5 月.
- “A Historical Survey of the Studies on Tokugawa Educational Thought in Japan: Trends and Issues”, Japanese Educational Research Association, “*Educational Studies in Japan: International Yearbook*”,

No.4, December 2009, pp.5-15.

- 「江戸儒学の思想空間とその教育認識」,『教育哲学研究』第103号,教育哲学会,38-44頁,2011年5月.
- 「日本教育史における『通史』叙述の課題と展望——研究史の回顧を通して」,『日本教育史研究』第35号,日本教育史研究会,107-130頁,2016年9月.
- 「江戸儒学思想の一断面——仁斎学の「天人合一」説をめぐって——」,『三田教育学研究』第25号,三田教育学会,9-21頁,2017年6月.
- 「仁斎学的“天人合一”理論——江戸儒学中“儒学主体”的一个位相(申绪璐译)」,『現代儒學』第貳号(2017年春季号),复旦大学上海儒学院,298-311頁,2017年9月.
- 「近代仏教と教育をめぐる学説史的研究・序説」[眞壁宏幹・渡辺哲男・田中潤一・山本正身共著],『近代教育フォーラム』第28号,教育思想史学会,146-151頁,2019年9月.
- “The tendency of educational thought of “the ancient studies” in the Edo Confucianism: A focus on the thought differences between Ito Jinsai and Ogyu Sorai”, *“Educational Philosophy and Theory”*, Published on behalf of the Philosophy of Education Society of Australasia, Published online: 18 Apr 2021. <<https://www.tandfonline.com/doi/full/10.1080/00131857.2021.1914583>>
- 「再考『江戸教育思想史研究』」,『教育哲学研究』第125号,教育哲学会,2022年5月,掲載予定.

〈その他の著述〉

- 『朝日 日本歴史人物事典』[朝日新聞社編],「加藤弘之」(445頁),「手島精一」(1105頁),「樋口勘次郎」(1366頁)担当,朝日新聞社,1994年11月.
- 「教育思想としての儒教——その基本的立場を探る——」,慶應義塾大学通信教育部『三色旗』第563号,12-15頁,1995年2月.
- 「『教育不信』の所在をめぐって」,慶應義塾『三田評論』第974号,48-49頁,1995年11月.
- 「入学者選考方法はどうあるべきか」,『通信教育の在り方をめぐって』[慶應義塾大学通信教育部,通信教育の在り方を検討する部会・第1回報告書],11-17頁,1997年9月.
- 「福澤諭吉の教育精神」,三田教育会『三田教育会報』第29号,2003年6月.
- 「心を通わす“対話”」,『聖教新聞』,2004年2月18日.
- 『慶應義塾史事典』慶應義塾大学出版会,「川合貞一」(647頁)担当,2008年11月.
- 西平直著『世阿弥の稽古哲学』[図書紹介],教育哲学会『教育哲学研究』第102号,180-184頁,2010年11月.
- 生田久美子・北村勝朗編著『わざ言語——感覚の共有を通しての「学び」へ——』[図書紹介],教育哲学会『教育哲学研究』第104号,171-173頁,2011年11月.
- 『明治時代史大事典』第一巻,「川合貞一」(587-588頁)担当,吉川弘文館,2011年12月.
- 「慶應義塾一貫教育校の女子教育——慶應義塾女子高等学校の取り組みから——」,三田教育会『三田教育会報』第45号,2015年9月.
- 「教育文化が遭遇した『黒船』」[書評:沖田行司『日本国民をつくった教育』ミネルヴァ書房,2017年],『公明新聞』,2017年2月20日.
- 「識者はこう見る——短期間で近代化に成功」[明治150年 維新鳴動——かごしま再論——第7部],『南日本新聞』,2018年7月19日.

- ニールス・ファンステーンパール『〈孝子〉という表徴——近世日本道德文化史の試み』〔書評〕, 教育史学会『日本の教育史学』(教育史学会紀要) 第 61 集, 135-138 頁, 2018 年 10 月 1 日.
- 前田勉『江戸教育思想史研究』〔書評〕, 日本教育史研究会『日本教育史研究』第 37 号, 65-74 頁, 2018 年 8 月 31 日.
- 「仁斎学研究に関する重厚な諸論攷が一書に集約されて甦る」〔書評: 丸谷晃一『伊藤仁斎の古義学』〕, 『図書新聞』3386 号, 2019 年 2 月 9 日.
- 西平直『稽古の思想』〔書評〕, 日本教育学会『教育学研究』第 87 巻第 1 号, 134-136 頁, 2020 年 3 月 31 日.
- 西平直『養生の思想』〔書評〕, 教育哲学会『教育哲学研究』第 124 号, 236-241 頁, 2021 年 11 月 10 日.

〈口頭発表〉

- 「W. ラインの教育学体系——その教育学史上の位置——」, 教育史学会第 30 回大会 (於: 慶應義塾大学), 1986 年 10 月 10 日.
- 「孔子における『啓発』の意味について」, 第 3 回人間主義学会 (於: 東京国際大学国際交流研究所), 1989 年 12 月 16 日.
- 「学校 5 日制に関する調査研究——アメリカおよびオーストラリアにおける実態調査から——」〔山本正身・中井良宏・梅村光弘・片山尊文・宇田光共同発表〕, 日本教育学会第 51 回大会 (於: 北海道大学), 1992 年 8 月 29 日.
- 「米・豪における『学校五日制』の調査研究——週末の過ごし方に関する分析を中心として——」〔山本正身・中井良宏・梅村光弘・片山尊文・宇田光共同発表〕, 日本比較教育学会第 29 回大会 (於: 愛知淑徳短期大学), 1993 年 6 月 19 日.
- 「教育思想における人間観と教育観との関わりについて——孟子・荀子・告子の場合——」, 三田教育学会研究大会 (於: 慶應義塾大学), 1994 年 7 月 23 日.
- 「『五倫』道德の成立過程について」, 第 28 回人間主義学会 (於: 慶應義塾大学), 1996 年 3 月 16 日.
- 「近世儒教思想における『教育』の論理について」, 三田教育学会研究大会 (於: 慶應義塾大学), 1998 年 7 月 11 日.
- 「伊藤仁斎における教育思想の構成」, 第 38 回人間主義学会 (於: 慶應義塾大学), 1998 年 9 月 12 日.
- 「伊藤仁斎の思想における『教育』の論理について」, 教育史学会第 42 回大会 (於: 筑波大学), 1998 年 10 月 4 日.
- 「福澤諭吉における『政治』と『教育』との関わりについて」, 日本教育学会第 58 回大会 (於: 玉川大学), シンポジウムⅡ「政治と教育——教育とは何であり, 何でないか——」, 1999 年 9 月 4 日.
- 「伊藤仁斎の『拡充説』に関する一考察——その思想構造と教育思想としての特質を探る——」, 石門心学会研究報告会 (於: 謙堂文庫), 1999 年 12 月 11 日.
- 「『学び』をめぐる仁斎学と東涯学の思想異同について——学の根本としての『忠信』観念を中心に——」, 教育史学会第 44 回大会 (於: 埼玉大学), 2000 年 10 月 1 日.
- 「近世教育思想史における仁斎学の位置について」, 第 47 回人間主義学会 (於: 慶應義塾大学), 2000 年 12 月 16 日.
- 「福澤諭吉の教育精神」, 三田教育会例会 (於: 慶應義塾大学), 2003 年 3 月 25 日.

「江戸儒学思想における『心』」, 慶應義塾大学 21 世紀人文科学 COE プログラム心性史グループ公開シンポジウム (於: 慶應義塾大学), 2003 年 11 月 19 日.

“Neo-Confucianism and Tokugawa Confucianism——The differences of the theory of 'Mind' between Zhu Xi and Ito Jinsai——”, International Symposium on World Civilization & Zheng He's Voyage, (於: 北京大学), 2004 年 7 月 11 日.

「中国儒学と日本儒学——朱子学と仁斎学关于“心”の概念的异同——」, 首都师范大学外国语学院特邀学术讲座 (於: 北京市首都師範大学), 2004 年 11 月 4 日.

「『心』の理解をめぐる朱子学と仁斎学の思想異同について——江戸教育思想史の視点から——」, 三田教育学会研究大会 (於: 慶應義塾大学), 2005 年 7 月 23 日.

「江戸儒学における教育認識の一特質について——朱子学と仁斎学との思想異同から——」, 日本教育史学会研究例会 (於: 謙堂文庫), 2005 年 12 月 24 日.

「思想史における『教育』——死生観の教育をめぐる——」, 日本思想史研究会夏季セミナー (於: 磐梯熱海温泉金蘭荘花山), 2006 年 8 月 20 日.

「近世教育思想史の方法と課題」, 教育哲学会第 51 回大会ラウンドテーブル報告 (於: 慶應義塾大学), 2008 年 10 月 26 日.

「江戸儒学の思想空間とその教育認識」, 教育哲学会第 53 回大会課題研究「教育学知の『地平』を問う——教育学における『宗教的なもの』——」報告 (於: 中央大学), 2010 年 10 月 17 日.

「慶應義塾一貫教育校の女子教育——慶應義塾女子高等学校の取り組みから——」, 三田教育会総会記念講演 (於: 慶應義塾大学), 2014 年 9 月 27 日.

「關於仁齋學的“天人合一”的論理——“儒學的主體”在江戸儒學上的一個位相——」, 東亞朱子學國際學術研討會——日韓朱子學的傳承與創新——研究報告 (於: 上海復旦大学), 2015 年 12 月 26 日.

「江戸儒学思想の一断面——仁斎学の「天人合一」説をめぐる——」, 三田教育学会講演会 (於: 慶應義塾大学), 2017 年 2 月 4 日.

コロキウム「近代仏教と教育をめぐる学説史的研究・序説」, 指定討論者 (企画者・司会者: 眞壁宏幹・渡辺哲男. 報告者: 眞壁宏幹・渡辺哲男・田中潤一), 教育思想史学会第 28 回大会 (於: 大阪大学), 2018 年 9 月 9 日.

コロキウム「近代仏教と教育をめぐる学説史的研究Ⅱ」, 指定討論者 (企画者・司会者: 眞壁宏幹, 渡辺哲男. 報告者: マイケル・コンウェイ・田中潤一・深田愛乃), 教育思想史学会第 30 回大会 (オンライン開催), 2020 年 9 月 12 日.

〈学位論文〉

「日本におけるデューイ教育思想の受容過程に関する研究」(修士論文), 早稲田大学大学院文学研究科, 1982 年 3 月.

「仁斎学教育思想史的研究——近世教育思想の思惟構造とその思想史的展開に関する研究序説」(博士論文), 慶應義塾大学大学院社会学研究科, 2009 年 5 月.